

JR東日本 第1四半期決算発表

黒字達成は 社員の努力の証!

JR東日本の第1四半期決算が7月28日に発表されました。連結決算では、コロナ禍からの需要回復で営業収益は**3期連続の増収**となり、**448億円(前年比+258億円)**の黒字となりました。特に鉄道利用者の回復により鉄道運輸収入はコロナ前比で約90%の水準まで回復しています。

また、インバウンドはコロナ前の72.0%まで回復していますが、中国の団体旅行が解禁され、今後は更に回復が見込まれています。

	2022.6実績	2023.6実績	2023.6 / 2022.6 比較	
営業収益	5,576億円	6,294億円	+718億円	112.9%
営業利益	402億円	801億円	+398億円	199.0%
経常利益	259億円	674億円	+415億円	259.7%
四半期純利益	189億円	448億円	+258億円	236.8%

賃上げ<物価高

厚生労働省が発表した6月の毎月勤労統計調査によると、**実質賃金は前年同月比1.6%減**となっています。マイナスは**15カ月連続**となっています。春闘で賃上げがされましたが、物価上昇には追いつかない状況が続いています。また、6月から電気代が値上げされ、生活に大きな負担が掛かっています。



会社には支払い能力がある!

国労は生活が改善されるように年末手当の交渉で求めていきます。今後、皆さんの声を集約するために年末手当アンケートを実施します。ご協力お願い致します。

組合に
加入し

一緒に声を出しましょう!